

紙上公共施設見学会 「中央小学校教育史料館」

昭和48(1973)年に創立百年を記念して建設された3階建ての「中央小学校百年記念館」の2階には、昭和58(1983)年に開設された「中央小学校教育史料館」があります。

展示室には、長年受け継いできた教育への熱意と理念を知っていただくようと、地域の皆さんの寄附などの協力を得て、江戸末期から明治までの寺子屋時代の漢文の教材や、明治後期から戦前にかけて使われた英語や壁掛け式の教科書などの貴重な史料を展示しています。



貴重な史料を数百点展示

中でも、明治36(1903)年竣工時の校舎の鬼瓦や、大正時代に授業の開始を知らせたベルなどの珍しい史料のほか、同校で教鞭をとった童謡作曲家・山中直治(16面参照)の史料もあります。

また、校舎内には、第2・第3の史料館があり、昭和初期の理科の



実験道具や農具、さらには、昭和41(1966)年まで使われた校長室や奉安殿も保存されています。

開館は、毎月第2・第4土曜日の10時から15時までで、見学は無料です(夏季休業期間など休館の場合あり)。

市民訪問

「若潮」と「ゆめ半島」 親子で地元の国体出場

石塚 麻衣さん
石塚 雅子さん



昭和48(1973)年の若潮国体にバスケットボールの選手として出場した石塚雅子さん(左)。

先月37年ぶりに地元で開催されたゆめ半島千葉国体には、ハンドボールの選手兼コーチとして、長女の麻衣さんが出場しました。

雅子さんは、「白いベレー帽とタイトスカート、黄色のブレザーを着て県の花『菜の花』を表現し、開会式で行進したのが忘れられません」と、麻衣さんは、「若潮国体以来の5位入賞に感謝です」と話します。

また、2人は小学校で教壇に立たれていますが、「私たちの経験から、子どもたちには、いろいろなことにチャレンジして夢や目標に向かって頑張って欲しい。支えてくれる皆さんへの感謝や継続することの大切さも伝えたい」と語り、麻衣さんは、「将来子どもができて運動を始めたら、三代連続の地元国体出場を目指そうかな」と笑顔で話していました。

吉春在住 雅子さん…昭和27年生まれ 麻衣さん…同53年生まれ

トピックス

子どもたちに大人気 給食の黒酢米



ブランド認定は今秋からスタート

学校給食に野田産ブランド米を使って、食育にもつなげようと、市では10月1日から、玄米黒酢農法米と江川産米の給食を開始した。

「もちもちだね」、「香りがいい」など、初日の黒酢米への感想があがる中、みずき小6年生の稲見直哉くんは、「黒いのか、酸っぱいのかなどと思ったら、普通の米とかわらないよ」と笑顔を見せていた。

利根運河の魅力 新たな視点で再発見



運河を空から写した写真(2,500分の1)も

豊かな自然が残る利根運河の魅力を知っていただくようと、郷土博物館では、同運河通水120年を記念して、12月6日まで「利根運河三十六景」を開催している。

多くの船が行き交った時代から、サシバやヨシゴイなど、希少な渡り鳥が生息する現在の姿までを写真や資料で紹介。「これから運河を散策してみたくなった」と話す来場者もいた。